



玄々堂グループ広報誌 - あたたかい医療をみんなの手で -

げんげんどう

特集 麻酔科外来
始めました!

2024.7 No. 99

- ① 呼吸器内科部長 野口医師の油絵 - 自然豊かなホイトン・リージョナル パーク -
- ② 日本ヘルニア学会・優秀賞受賞 50 周年記念史発行 30 年永年勤続表彰
- ③ 新入職員が働いて想うこと マザー牧場ハイキングに参加して
- ④ ⑤ 特集 麻酔科外来始めました!
- ⑥ 院内職種紹介
- ⑦ より良い「医療サービス」の提供に繋げていくために
- ⑧ 患者さんからの質問コーナー 玄々堂ヘルパーステーションの紹介



表紙の絵：呼吸器内科部長 野口医師が描いた油絵です。アメリカ東部にあるメリーランド州 Rockville（ロックビル）市郊外にある Wheaton Regional Park（ホイトン・リージョナル パーク）にはその一部に日本庭園が設置されています。日本の神社を模して、鳥居なども設置されており、池には錦鯉などが放されています。夏になると池にはハスやカキツバタなど色とりどりの花が咲き誇り、地域の住民に憩いの場を提供しています。

日本ヘルニア学会・優秀賞を受賞して

消化器外科医長 島田拓

さる5月24日に新潟市で開催された日本ヘルニア学会学術集会・関連地域研究会推薦演題セッションにおいて小医の演題「外膀胱上窩ヘルニアに対してTAPP（腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術）を施行した6例の検討」が優秀賞（全国より3名選出）を授与いただきました。かつて比較まれとされてきた外膀胱上窩ヘルニアが実臨床の場においてしばしば見かける病態であること、その成因として胎生期から出生時にかけてその領域特有の発生的機序が関与している可能性について報告しました。全国学会での受賞は大変名誉なこと

と感じております。医師は常に緊張感をもって自らに規律を与え、最適な治療を習得すべく幅広い視野を保ち勉強続けることが求められております。こうした機会を与えてくださった院長先生はじめ玄々堂君津病院スタッフの皆様、私の演題を全国に推薦いただいた千葉県ヘルニア研究会の先生方に感謝の意を表します。これからも医道の探求に励んでまいります。



50周年 記念史発行



記念史内の写真

経営企画室室長 川村孝正

当院はこの度、創立50周年を迎え、これを記念して50年の歴史をまとめた冊子を制作しました。制作にあたり、過去の膨大な資料を収集し、その内容を読み解く作業に多くの時間を費やしました。また、当院発展の功労者にインタビューを行い、貴重な話を伺いました。この50周年史が、さらに未来の100周年史へと繋がることを願っています。

今後とも、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

30年永年勤続表彰



3A病棟 看護師長 加藤 久美子

平成5年、「大丈夫。あなたはやれるよ」。入社面接で当時の茅野嗣雄副院長

と大神看護部長からいただいた言葉です。ブラント4年、幼子2人を抱えて不安だらけの再スタートでした。当時はまだ東館しかなく、見学した訪問看護ステーションはプレハブ小屋でしたが、ギシギシと床を鳴らして勉強会に集まってきた先輩方のにぎやかな声に、看護師として働く希望と決意を新たにしたいのを覚えています。

熱心に子どもを見てくださる保育所の先生方のおかげで慣れない仕事にも集中でき、配属された歴史ある透析室では、患者さんとのさまざまな出会いがあり、看護を深めることができました。当時を思うと私は、自分の理解者、働きやすい環境、地域の方に貢献できる仕事のやりがいと誇りとで働き続けられたのではないかと思います。

30年間は偉大な先輩方の後ろ姿を見て、仲間と共に無我夢中で働いた日々のつながりです。成長し続けるチャンスをくださった皆様に心から感謝申し上げます。

新入職員が働いて想うこと



3B病棟 看護師
高木 未侑

4月に入職してから3か月が経過しました。

新しい環境に慣れて仕事ができるか、自分の看護知識・技術で看護が行えるか不安でしたが先輩方のご指導や研修を通して日々学びを得ることが出来ています。

毎日、目の前のことに精一杯ですが患者さんに「ありがとう」と言ってもらえたり、出来る看護技術が増えることに喜びを感じます。

これからも、患者さんに寄り添う看護という自分の看護観を忘れず、頑張っていきたいと思っています。



新入職員が働いて想うこと マザー牧場ハイキングに参加して



放射線科 診療放射線技師
前田 瑞季

診療放射線技師として働き始めて3か月が経ちました。先輩方の温かいご指導のおかげで、少しずつ撮影を覚えてきました。患者さんの中には「玄々堂が好き」とおっしゃる方も多く、その気持ちを大切にしたいと思うようになりまし。病院理念である一人一人の患者さんを大切に、良質で安心なぬくもりのある医療を提供できるよう、そして患者さんの不安を少しでも取り除けるような技師を目指して、日々頑張っていきたいと思っています。



03 げんげんどう

『マザー牧場ハイキングに参加して』

外来クラーク 吉成 香穂



私は、職員親睦ハイキングを通して、達成感と充実感を感じることが出来ました。

初めて歩いたマザー牧場までの7.7kmの道中では、マイナスイオンを身体いっぱい浴びることができ、自然に癒されました。ゴールした時には、同期との絆も深まったことを実感しつつ、一緒に歩いた先輩職員の方々と達成感を感じることができました。

そしてその後には、格別のジンギスカンとソフトクリームが待っていました。ジンギスカンでは、院長先生ご夫婦と一緒にいただくことができ、より一層美味しく感じました。

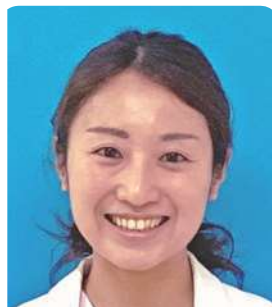
達成感と充実感に満ち溢れ、楽しい思い出となりました。



院長先生ご夫婦と楽しく食事ができました♡

特集

麻酔科外来始めました！

麻酔科部長
齋藤 明子

4月より常勤麻酔科医として赴任しました齋藤です。

今回は4月から新たに始まった麻酔科外来の目的や役割、普段の生活ではあまりなじみのない『麻酔』についてお話をさせていただきます。

手術は患者さんのご病気を治療するために必要なのですが、同時に体に傷をつける行為でもあります。麻酔は痛みを感じることなく手術を受け、身体への負担を軽減する役割を担っています。

手術の最中は痛みに対する麻酔薬の使用だけでなく、手術に伴う出血・血行動態の変化や麻酔薬による生理機能の変化に対応して、呼吸・血液循環・体温などが平常状態を保てるように、適切な呼吸補助や酸素、昇圧剤などの投与が必要です。

当院での術後の疼痛に関しては、主に主治医が管理いたしますが、今後麻酔科からPCEA（硬膜外自己調整鎮痛法）やIVPCA（経静脈的自己調整

鎮痛法と呼ばれる、患者さんの痛みに応じて鎮痛薬を投与する機器を導入する予定があり、これまでに加えて、疼痛時の手段が一つ増えることで、術後の疼痛に対応する範囲が広がると考えています。

《麻酔科外来》

当院での手術が予定された患者さんは麻酔科外来への受診が案内されます。麻酔科外来の役割は患者さんの全身状態を評価し、必要があれば事前に整えることと、手術当日の麻酔方法の説明です。



麻酔科外来で全身状態の評価

《全身状態の評価》

全身状態の評価は血液検査・心電図・レントゲン・呼吸機能検査・CTなどを参考に行います。外来を受診された際の患者さんの様子（顔色・呼吸の状態・お話の様子など）も参考にしています。麻酔科外来を受診される前に記載していただく問診票には麻酔に関わる様々な質問が書かれています。それらの答えを元に、麻酔を行う時に何を注意すべきか、追加で必要な検査があるか、手術が安全に行えるかを評価します。

5月より患者さんの術前状態や手術内容から、麻酔科医が必要と判断した方に呼吸筋のトレーニングを術前から行っていただけのトライボール®をご案内しています。事前に呼吸筋の練習を行っておくことで、術後の呼吸状態の安定・痰などの分泌物を出しやすくし、肺炎を予防する効果があります。



また、喫煙中の方には手術前の禁煙をお願いしています。手術直後は痛みや長時間の臥床の影響で深い呼吸ができなくなることが多く、酸素の取り込みが低下します。体への酸素の取り込みが減ることは、傷の治りが悪くなったり、傷口が感染しやすくなったり、と術後の経過に影響します。

また、術後に肺炎を併発する可能性も非喫煙者に比べて高いため、入院期間が長くなる可能性もあります。禁煙は1週間で酸素の取り込みの改善、1か

月で呼吸器合併症の減少を認めるようになります。手術が決まりましたら、少なくとも1か月の禁煙をお勧めします。

《麻酔方法》

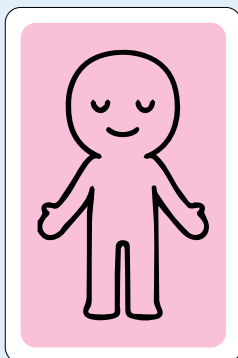
手術室での麻酔方法は大きく分けて2種類あります。一つが全身麻酔、もう一つが区域麻酔です。

全身麻酔は図Aのイメージで、身体全体が麻酔薬の影響を受け、意識がなくなり、どの部分でも痛みを感じません。

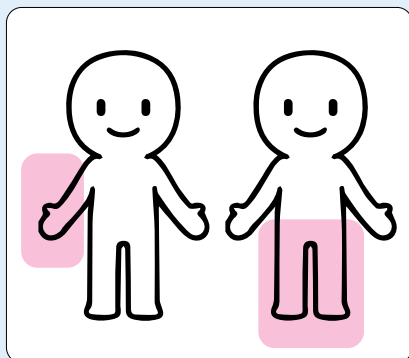
区域麻酔は図Bのイメージで、麻酔の効果範囲が限定されます。

全身麻酔は呼吸にも影響を与えます。多くの場合は呼吸が止まるため、手術の最中は人工呼吸器で呼吸を補助します。

区域麻酔には様々な種類があります。いわゆる半身麻酔と



【図A】全身麻酔



【図B】区域麻酔

いわれる脊髄も膜下麻酔、複数の神経根領域だけの痛みをとる硬膜外麻酔、特定の神経や神経叢の領域のみ疼痛を感じなくする末梢神経ブロックです。どの麻酔方法が選択可能かは手術の内容により変わります。

当院では主に外科と整形外科、腎移植手術が行われています。外科では腹腔鏡下の胆のう摘出術や鼠経ヘルニア根治術や大腸悪性腫瘍手術が行われています。

腹腔鏡手術は『気腹』といって二酸化炭素を腹腔内に吹き込んで手術を行うため、腹部に圧がかかります。そのため、私たちが自然に行っている呼吸方法で呼吸するのは困難です。全身麻酔を用いて人工呼吸器で呼吸を補助する必要があります。

整形外科の手術では手術部位に合わせて区域麻酔を用いる事が多いです。四肢以外の脊椎の手術などでは全身麻酔を選択します。

当院かかりつけの透析患者さんの手術を行うことも度々ありますが、透析患者さんは様々な要因から選択できる麻酔方法が限られることがあります。限られた選択肢の中から、麻酔科医は全身の状態を把握して、皆様がより安全に手術を受けられる方法をご提供してまいります。

4月から新しく始まった麻酔科外来。役割や意義をお伝えできたでしょうか。外

来の限られた時間ではありませんが、麻酔科外来を受診することで手術前の患者さんやご家族の不安が少しでも軽減し、安心して手術に臨んでいただければ嬉しいです。



手術室スタッフと一緒に

院内職種紹介

放射線科 診療放射線技師 神子枝里子

診療放射線技師は、主に放射線を使って人体を撮影し、医師の診断につながる画像を提供しています。当院では、11名(男性8名、女性3名)が働いています。胸部や腹部、骨の一般撮影(レントゲン)や、乳腺検査のマンモグラフィ、体の断面図を撮るCT検査や、磁石の力で撮るMRI検査、胃や大腸のバリウム検査などを行っています。近年では診療放射線技師の仕事がドラマ化され、注目されている職業です。



リハビリテーション科 作業療法士 笹生春樹



作業療法は、病気や事故などで、身体・精神に障害がある方、生活に支障をきたしている方に対して行われます。腕や手などの上肢を中心とした運動機能向上や更衣、食事、排泄動作などの日常生活動作の修得

を目指します。また、「ご本人・ご家族の「思いや生き方」に焦点を当て、趣味、遊びなど幅広く治療や援助を行い「その人らしい」生活の獲得も目指しています。

リハビリテーション科 理学療法士 福原晶

理学療法士は、ケガや病気などで身体に障害のある人や障害が予測される患者さんに対して関節可動域練習・筋力強化・基本動作練習・歩行練習などを行い、日常生活で基本となる動作の維持・改善を目指します。対象疾患は、主に脳卒中や変形性関節症・骨折の術後・安静などにより廃用症候群(心身の機能低下)となった方などが対象です。また、治療の内容は対象者一人一人身体能力や生活環境を評価し、それぞれの目標に向けてプログラムを作成します。



リハビリテーション科 言語聴覚士 高山亜希子

言語聴覚士は、主には嚥下訓練(飲みこみの訓練)を行います。脳梗塞などで突然嚥下が難しくなる方

もいれば、全身状態の悪化から徐々に食べられなくなり、それに伴って嚥下機能が低下していく方など背景は様々です。改善ある方には、介護食でなく常食摂取を目標に訓練します。一方で、進行性の病気や重篤な障害によって、点滴や胃ろうで栄養を摂る方もいます。そのような方も残存機能を活かして本人家族が望む方向へ近づけるよう関わっていきます。



臨床工学科 副技士長 高橋初

臨床工学科は血液浄化装置や手術室の機器管理を担当し、患者さんの治療をサポートしています。具体的には、透析機器の操作やメンテナンス、手術中の機器トラブル対応などです。医療チームの一員として、常に最新の技術と知識を駆使し、患者さんの安全と健康を守ることが私たちの使命です。日々の業務が患者さんのQOL向上に繋がることが何よりのやりがいです。



より良い『医療サービス』の提供に繋げていくために

CS委員会
石和田直人

昨年度、CS委員会(Customer Satisfaction)顧客満足度の活動として、『満足度アンケート』を実施いたしました。このアンケートは、当院を利用される方々からご意見をいただき、医療サービスの改善や質の向上に繋げ、ひとりでも多くの方にご満足いただける病院となることを目指し行っております。

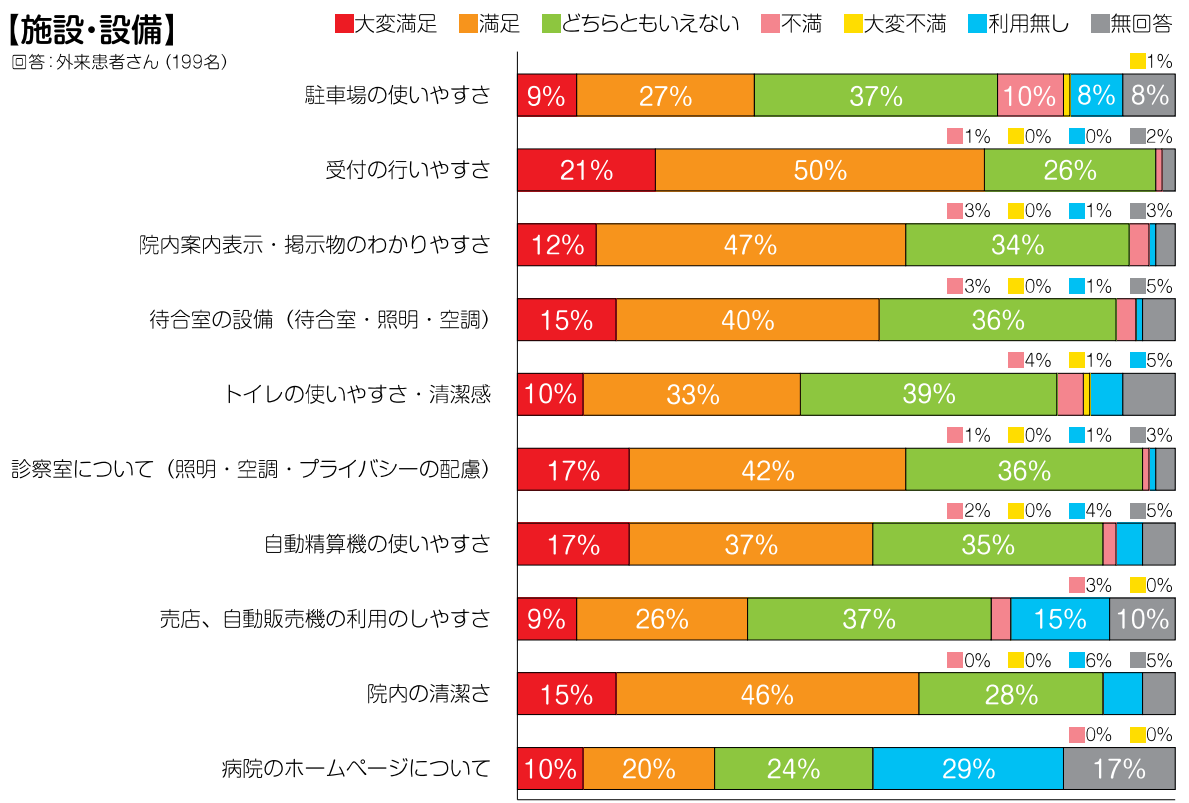
結果の一部となりますがここに掲載させていただきます。ご協力いただきました患者さんやご家族の方々、人間ドック利用者の方々、誠にありがとうございました。なお、アンケート結果の詳細は病院ホームページに掲載されています。ぜひご覧になってください。

今回の結果から病院として取り組むこと、各部署で取り組むこと様々ありますが、CS委員会としては職員の身だしなみや医療接遇の改善、院内外環境整備に取り組み、来院される方々が快適に安心してご利用いただけるよう今後の業務・活動に活かしてまいります。

今年度も満足度アンケートの実施を予定しております。皆さんの貴重なご意見をお聞かせください。

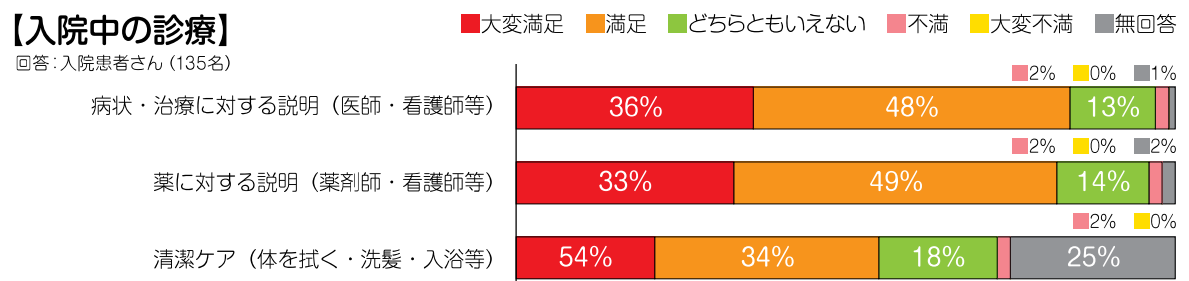
【施設・設備】

回答：外来患者さん(199名)



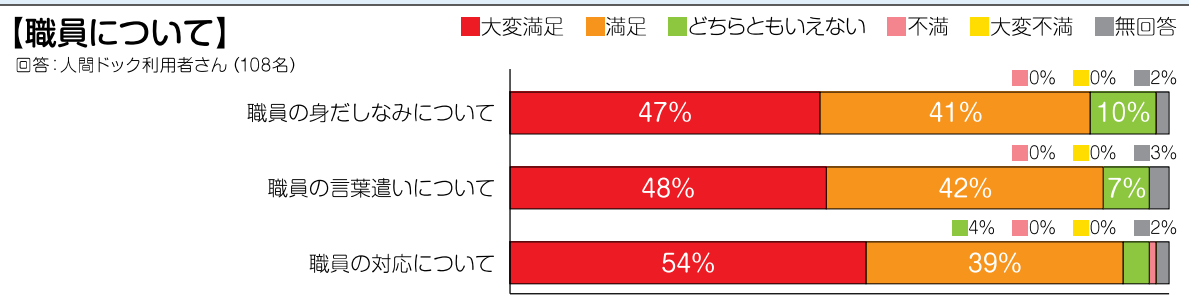
【入院中の診療】

回答：入院患者さん(135名)



【職員について】

回答：人間ドック利用者さん(108名)



頭の体操・脳活コーナー

頭の体操や気分展開に、
ぜひ挑戦してみてください。



モ	ゴ	ン	リ
バ	モ	チ	キ
ナ	シ	カ	イ
ナ	カ	イ	ス

盤面の中から「果物の名前」を探して
下さい。文字はタテ、ヨコ、ナナメに読
むことができます。全部でいくつの言
葉が隠れているか答えてみましょう。



※正解は下にあります。

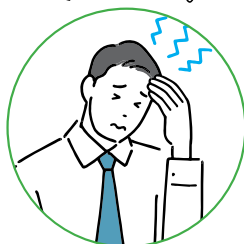
頭が痛いときに考えられること

● 患者さんからの質問コーナー ●

日本外科学会専門医 久保田 将

頭痛はありふれた病気であり、日常生活の様々な場面で頭痛を感じることがあります。頭痛を感じたときにまず一番に考えるべきことは、その頭痛が命に係わる「危ない頭痛」であるかどうかです。「危ない頭痛」は二次性の頭痛、すなわち脳などの病気によっておこる緊急対応が必要な頭痛です。突然の頭痛、今までに経験したことのない頭痛、頻度と程度が増していく頭痛、全身症状（発熱、倦怠感や神経症状（手足に力が入りにくい、手足の感覚が鈍い）を伴う頭痛、打撲後の強い頭痛の場合には早急に受診してください。くも膜下出血や脳動脈解離、脳腫瘍などが原因の可能性があります。

また、頭痛のほとんどが「危なくない頭痛」、いわゆる頭痛もちの頭痛、一次性頭痛（片頭痛、群発頭痛、緊張型頭痛）ですが、今までは違う痛み方の場合には注意が必要であり早急な受診が必要です。24時間いつでも対応させていただきます。



玄々堂 ヘルパーステーションの紹介

介護部長 石川 智子

はじめまして。

私は4月に介護部長として着任いたしました石川と申します。

今までは、神奈川にあります「南大和病院」「南大和老人保健施設」で師長として長年勤めておりましたが、この度縁があり「玄々堂ヘルパーステーション」で働くこととなりました。

サ高住での勤務は初めてですが、ご入居者に必要なサービスをスムーズに提供するには、ご本人・ご家族・ケアマネ・生活相談員・リハビリスタッフ・介護職の協働こそが、最も重要だと考えています。私はその一員として、適切な介護・医療の提供を通じて、ご入居者が安全で安心な生活を送っていただけるよう努めます。加えて、働く職員が楽しく仕事ができる職場環境づくりにも尽力してまいります。

着任して4

か月の一年生ですが、看護師として長年に亘る経験フル活用して業務に臨みます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



玄々堂君津病院 各お問い合わせ番号 月曜日～土曜日（祝日は除く）

玄々堂君津病院
0439-52-2366
代表

外来診療予約
0439-52-7068
診療予約・予約変更

地域連携室
0439-52-2457
医療機関からの患者さんご紹介

玄々堂木更津クリニック
0438-53-7807
代表



玄々堂グループ広報誌

げんげんどう

第99号 2024年7月25日発行

発行者：玄々堂君津病院
発行責任者：院長 池田重雄
企画・編集：新聞委員会

医療法人社団 新都市医療研究会「君津」会

玄々堂君津病院

〒299-1144 千葉県君津市東坂田4-7-20

電話 0439-52-2366（代表）

URL <http://www.gengendo.jp>



※正解：7個（カキ、ナシ、モモ、イチゴ、スイカ、バナナ、リンゴ）（出典：新健康脳活ドリル令和三年度上半期版 英和出版社）